

ファミリーサポート センター いづか

病児・緊急対応事業

ファミサポは、“子育ての手助けがほしい”「おねがい会員」と“子育てのお手伝いができる”「まかせて会員」が、有償で助け合う仕組みです。また、**病児・緊急対応事業**は、通常ファミサポに加え、**病児・病後児の預かりや送迎**などを会員間でサポートする仕組みです。ファミサポは、地域の中で子育てしやすい環境づくりを目指しています。

【病児・緊急対応】 具体的な援助の内容

・ 病児および病後児の預かり

- ※病児・・・当面、症状の急変が認められないが、集団保育が困難かつ保護者の都合により、保育が困難な者
- ※病後児・・・病気の回復期にあるが集団保育が、困難かつ保護者の都合により保育が困難な者

- ・ 子どもの急な発熱や体調不良による緊急時に、保護者に代わっての預かり等
- ・ 保護者が急な用事で外出する時の子どもの預かり ...等々

仕組み

対象

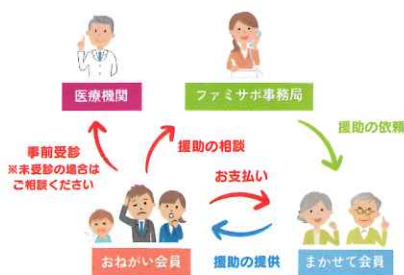
生後6か月～小学6年生

料金

7:00～9:00	1,000円/時
9:00～19:00	700円/時
19:00～20:00	1,000円/時

※受入れの目安やその他条件については裏面をご確認ください

⚠
会員登録が
必要です



● 相談日時：月曜日～金曜日 9:00～17:00

〒820-0066 飯塚市幸袋 526-1
福岡ソフトウェアセンター 3階 309号室

● お問い合わせ / メールアドレス

TEL: 0948-43-3324
Email: f-sapo-e@fsc-go.co.jp

HPは
こちら→



病名	受入れの目安
インフルエンザ	解熱後3日を経過している
新型コロナウイルス	発症した日を0日として5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過している
麻疹	解熱後3日を経過している
風疹	解熱し、発疹が消失している（発疹出現後3日程度、色素沈着はかまわない）
水痘・带状疱疹	すべての発疹が痂皮下している
おたふくかぜ	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が出現後5日を経過し、かつ全身状態が良好である
突発性発疹	診断がくだされ、解熱している
ヘルパンギーナ	解熱して食事が摂取可能である
手足口病	解熱して食事が摂取可能である
感染性胃腸炎	発熱・嘔吐がなく、下痢が消失傾向である
咽頭性結膜炎	解熱後2日を経過し、眼脂・流涙がほぼ消失している
流行性角結膜炎	眼脂・流涙がほぼ消失している（通常発症から2～3週間くらい）
急性出血性結膜炎	眼脂・流涙がほぼ消失している
溶連菌感染症	適切な治療を前日までに開始されていて（内服開始後24時間以上経過している）体温が38.0℃未満であること
とびひ	発熱がなく、状態が悪くない場合
百日咳	特有な咳（レプリーゼ）の消失後、または5日間の適正な抗菌薬による治療が終了している
外科的疾患	一般保育所での保育が困難な場合
マイコプラズマ感染症	解熱後2日が経過し、症状が軽快傾向にあり、全身状態のよい者
RSウイルス・ヒトメタニューモウイルス	解熱後2日が経過し、咳や鼻汁などの症状がなく、全身状態のよい者

一般症状（お預かりできる症状）

①熱	体温が37.9℃以下の場合
②嘔吐・下痢・胃腸障害の場合（消化器）	激しい腹痛、頻繁におこる下痢、嘔吐のない場合

◆ご利用いただけない場合

- ・感染症の強い疾患（感染症の急性期）で、他児に感染する懸念がある場合
- ・体温が38.0℃以上ある場合
- ・嘔吐、喘鳴（ゼーゼー）がひどく、呼吸困難である場合（喘息発作を含む）
- ・熱がなくても食欲がなく、ほとんど飲んだり食べたりできない状態
- ・点滴などの医療行為を行っている場合
- ・重篤な疾患で直ちに入院等の措置が必要と考えられる場合

※ただし、定員を超えたり、他の受入れ病児の感染症の種類によっては、受入れできない場合があります。

サポートの基本的な流れおよび注意点

☆病児・病後児の援助が必要になった際は、ファミサポ事務局へ「連絡票（症状確認）」のWEB送信および電話連絡を行ってください。

☆お子様を預かる場所は、原則としてファミサポ事務局内の施設となります。

保護者の方がお子様を預かり施設までお連れください。（状況により、ファミサポ事務局が対応いたします。）

☆預かり時の薬の投与は行いません。（量の間違いや誤飲防止のため）

☆病児・病後児の預かり中は、急な体調変化の可能性があるので、常に連絡が取れる状態を保つようお願いいたします。

詳しくはファミサポ事務局までお問い合わせください →

TEL: 0948-43-3324

Email: f-sapo-e@fsc-go.co.jp